

## 本地 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年9月18日（水）

午後7時から午後8時まで

場 所：本地会館

参加者：24名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進み、燃えるゴミが減少した
- 分別を推進するため、剪定枝の回収期間（現状：6月から11月）の拡大も検討する。
- 燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていないため、総量の削減に市民の皆さまと一丸となって取り組んでいきたい。
- 燃えるごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組み、ごみの総量の削減に協力いただきたい。

#### 市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- 下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水処理する費用の約65%しか使用料で賄っていない。
- 残りの35%は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- 6月市議会にて、下水道料金の改定が議決され、下水道料金の料金を24年ぶりに改定する。
- 経費回収率は本来100%が求められるもの。今回の改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率80%となる予定である。

#### 市からの報告 テーマ：市制100周年に向けて

- 今年度は市制95周年であり、来年の国際芸術祭あいちのプレイベントも開催される。
- 来年は、愛知万博20周年の年であり、国際芸術祭あいちが瀬戸市で開催される。
- 令和11年に瀬戸市制100周年を迎えるに当たり、カウントダウンにつながる

取り組みを進めていく。

地域の課題：自治会加入者の減少について

- 町内会に加入していない方が資源ごみに燃えるごみを混ぜたままゴミを出している。ごみが混在していると回収されないため困っている。
- 市のごみ袋に入れていけば、町内にかかわらずどこでも捨ててもいいと思っている人もいる。
- 自治会に入っていない方から「どこにごみを捨てればいいのか」という問い合わせが市にあった場合は、「各自治会に確認してほしい」と伝えてほしい。
- 自治会費でごみ置き場を管理しているので、本来であれば「全員が町内会に加入して、ごみ分別に協力してほしい」という気持ちがある。自治会に加入しなくてもごみを出しているということに、不公平感を感じる人もいる。
- 自治会に入っていない方のごみは、自宅前に出してもらい個別回収してもらえないか。
- 自治会を通じて、市の周知を依頼されることが多いが、自治会に加入されていない人にその情報が届かないため、苦慮している。分別カレンダーなどは、自治会に加入していないと回覧で届かないため、広報等に織り込むことはできないか。
- 本地地区では約 1000 世帯が加入していない。こうした世帯にどのように情報を伝えていけばいいのか。
- 転入・市内転居の際には、市の窓口で自治会加入への PR をしてほしい。
- 静岡県掛川市の事例を参考に、市が中心となり、市民と共にごみの削減に取り組めるようにしてほしい。

地域の課題：その他

(浄化槽設置等の支援について)

- 下水道事業に下水を利用していない世帯の税も投入されている。浄化槽の維持管理に関する支援があるのか市民に情報提供をしてほしい。

(その他)

- 側溝の清掃ができず、土砂の除去の依頼をしたが、その後の返事がない。(高根町 3 丁目)
- 矢田川の川床の砂が蓄積されているので、除去を検討してほしい。